

(平成24年6月分)

部 門	市況の概要
野 菜	6月期の野菜の入荷状況は、根菜類では、ダイコンが好天に恵まれ作柄良好であったことから入荷増となる一方、西洋ニンジンでは、生育期の天候不順から細物傾向での入荷となり、入荷減となった。葉菜類では、多くの品目で好天に恵まれ、入荷増または前年並みであった。果菜類では、多くの品目で好天に恵まれ作柄良好であったことから入荷増となった。土物類では、バレイショが低温の影響から小玉傾向であったものの、概ね順調な入荷であったことから入荷増、タマネギが低温の影響から作柄が悪く入荷減となった。野菜全体の入荷量は、前年同期並みとなった。 価格は、多くの品目で入荷増による単価安となった。根菜類では西洋ニンジン、土物類ではタマネギが入荷減の単価高となった。野菜全体としては前年同期を8%下回った。 品目別には、長ダイコン、ハウレンソウ、レタス、キュウリ、ナス、トマト、ピーマン、バレイショが入荷増の単価安、西洋ニンジン、タマネギが入荷減の単価高、ハクサイが入荷減の単価安、キャベツが入荷増の単価前年並みとなった。 根菜類は、入荷、価格ともに、前年並みとなった。 葉菜類は、入荷が7%減少し、価格は5%安となった。 果菜類は、入荷が17%増加し、価格は18%安となった。 土物類は、入荷が4%減少し、価格は13%安となった。
果 実	6月期の果実の入荷状況は、多くの品目で、生育期の天候不順の影響や入荷の切り上がりにより、入荷減若しくは前年並みとなった。果実全体の入荷量は、前年同期を11%下回った。 価格は、柑橘類では入荷前年並みの単価安、リンゴ類・桜桃では、入荷減により単価高となった。ブドウ類では入荷増により単価安、メロン類は入荷増の単価前年並み、スイカ類では、入荷前年並みの単価高となった。果実全体では、前年同期を7%上回った。 品目別には、ハウスミカンが入荷減の単価前年並み、ふじリンゴ、桜桃、アンデスメロン、大玉スイカが入荷減の単価高、デラウェア、アールスメロンが入荷増の単価安となった。 柑橘類は、入荷が前年並み、価格は18%安となった。 りんご類は、入荷が52%減少し、価格は55%高となった。 桜桃は、入荷が27%減少し、価格は14%高となった。 ブドウ類は、入荷が21%増加し、価格は11%安となった。 メロン類は、入荷が4%増加し、価格は前年並みとなった。 スイカ類は、入荷が前年並み、価格は5%高となった。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長ダイコン 西洋ニンジン	青森県を中心に北海道，長崎県，千葉県，鹿児島県からの入荷。 主力の青森県で，好天に恵まれ作柄良好であったことから，全体の入荷量は前年同期を6％上回った。 価格は，入荷増により前年同期を6％下回った。 長崎県を中心に，和歌山県，兵庫県，徳島県，中国からの入荷。 各産地ともに生育期の天候不順から細物傾向での入荷となった。全体の入荷量は，前年同期を13％下回った。 価格は，入荷減により前年同期を29％上回った。
【葉菜類】 ハクサイ キャベツ ホウレンソウ	長野県を中心に，茨城県，大分県，滋賀県，熊本県からの入荷。 主力産地の長野県産は前年並みの入荷であったが，熊本県産などの加工用の入荷が減少し，全体の入荷量は前年同期35％下回った。 価格は，前年高値であったこと，また，業務・加工需要の低迷により前年同期を13％下回った。 茨城県を中心に，愛知県，京都府，兵庫県，鹿児島県からの入荷。 多くの産地で，前月の低温による生育遅れ分の入荷が増加傾向となり，全体の入荷量は，前年同期を5％上回った。 価格は，前年安値であった前年同期並みとなった。 岐阜県を中心に，滋賀県，京都府，茨城県，長野県からの入荷。 各産地とも好天により作柄順調で平年並みの入荷であったが，前年の入荷が少なかったため，全体の入荷量は，前年同期を17％上回った。 価格は，入荷増により前年同期を11％下回った。
レタス 【果菜類】 キュウリ	長野県を中心に，山梨県，兵庫県からの入荷。 主力の長野県産で，好天に恵まれ作柄良好であったことから，全体の入荷量は前年同期を12％上回った。 価格は，入荷増であったことから，前年同期を10％下回った。 滋賀県を中心に，宮崎県，福岡県，高知県，京都府からの入荷。 多くの産地で，好天に恵まれ作柄良好であったことから，全体の入荷量は，前年同期を11％上回った。 価格は，入荷増であったことから，前年同期を37％下回った。

ナス	高知県を中心に、岡山県、京都府、滋賀県、奈良県からの入荷。 多くの産地で、好天に恵まれ作柄良好であったことから、全体の入荷量は、前年同期を16%上回った。 価格は、入荷増であったことから、前年同期を22%下回った。
トマト	熊本県を中心に、北海道、福岡県、三重県、京都府からの入荷。 主力の北海道産、福岡県産で低温の影響から生育の遅れがみられたものの、前年の入荷量が少なく、全体の入荷量は、前年同期を10%上回った。 価格は、入荷増であったことから、前年同期を3%下回った。
ピーマン	大分県を中心に、宮崎県、茨城県、高知県からの入荷。 各産地ともに好天に恵まれ作柄良好であったことから、全体の入荷量は、前年同期を48%上回った。 価格は、入荷増であったことから、前年同期を34%下回った。
【土物類】 バレイショ (メーク含む)	長崎県を中心に、熊本県、北海道、静岡県、鹿児島県からの入荷。 多くの産地で、低温の影響から小玉傾向であったものの、概ね順調な入荷であったことから、全体の入荷量は、前年同期を3%上回った。 価格は、入荷増であったこと、小玉傾向による単価安であったことから、前年同期を47%下回った。
タマネギ	兵庫県を中心に、佐賀県、中国、長崎県からの入荷。 主力の兵庫県産で低温の影響から作柄が悪く、全体の入荷量は前年同期を6%下回った。 価格は、入荷減であったこと、また、前年単価安であったことから、前年同期を77%上回った。
【その他野菜】 青ウメ	和歌山県を中心に、福井県、奈良県、京都府からの入荷。 主力の和歌山県産で低温の影響から作柄が悪く、入荷量は、前年同期を20%下回った。 価格は、入荷減であったことから、前年同期27%上回った。

主要品目（果実）	市況の概況
ハウスミカン	佐賀県を中心に、長崎県、和歌山県からの入荷。 各産地ともに、年始の寒波の影響と重油価格高騰による加温控えから作柄不良がみられ、入荷量は、前年同期を24%下回った。 各産地とも加温用重油の高騰以降は栽培面積を減少しており 価格は、入荷減ながら下位等級の入荷が多く、前年同期並みとなった。
ふじ （サン含む）	青森県からの入荷。 産地での流通在庫が少ない状況となっているため入荷量は、前年同期を56%下回った。 価格は、入荷減であったことから、前年同期を58%上回った。
桜桃	山形県を中心に、山梨県からの入荷。 両産地ともに、生育期の低温の影響により作柄不良であったことから、全体の入荷量は、前年同期を27%下回った。 価格は、入荷減であったことから、前年同期を14%上回った。
デラウェア	島根県を中心に、大阪府、奈良県、山梨県からの入荷。 各産地ともに、生育の遅れがみられたものの、好天に恵まれ作柄良好であったことから、入荷量は、前年同期を21%上回った。 価格は、入荷増であったことから、前年同期を14%下回った。
アールス	熊本県を中心に、高知県、静岡県からの入荷。 多くの産地で高齢化及び生産コストの増大により栽培面積の減少が見られるものの、中央集散機能により入荷量は、前年同期を13%上回った。 価格は、入荷増であったことから、前年同期を6%下回った。
アンデス	茨城県を中心に熊本県、山形県からの入荷。 主力の熊本産では入荷の終了をむかえ、全体の入荷量は、前年同期を10%下回った。 価格は、入荷減であったことから、前年同期を7%上回った。
大玉スイカ	鳥取県を中心に、熊本県、長崎県、愛知県、石川県からの入荷。 鳥取県産、石川県産のハウス物の生育が順調で入荷増であったものの、熊本県産、長崎県産の入荷が中旬で終了したため、全体の入荷量は、前年同期を3%下回った。 価格は、入荷減であったことから、前年同期を6%上回った。